

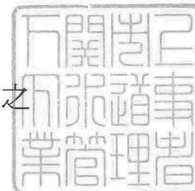
下 財 経 第 8 6 3 号

令和6年(2024年)6月13日

下関市上下水道事業経営審議会会長 様

下関市上下水道事業管理者

上下水道局長 林 義之



(仮称) 下関市上下水道局中長期ビジョン(経営戦略)
の策定について(諮問)

このことについて、下関市上下水道事業経営審議会運営規程(平成22年上下水道局規程第8号)第2条の規定に基づき、次のとおり、貴審議会の意見を求めます。

【諮問事項】

(仮称) 下関市上下水道局中長期ビジョン(経営戦略)の策定について

【諮問理由】

上下水道局では、これまで第2次下関市総合計画に定める基本構想に基づき、中長期的な視点を持ちながら水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の各事業が目指すべき方向性、果たすべき役割を定め、「下関市水道事業ビジョン」や「下関市新下水道ビジョン」、「経営戦略」をそれぞれ策定し、事業経営に取り組んできました。

上下水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少に伴い収益が減少する一方で、老朽化した施設や管路の更新・耐震化に対する投資費用は増加していくという厳しい状況であることが、全国的にも課題として認識されています。

本市においても予想を上回るスピードでの人口減少により、更に収益が減少することが見込まれることや、物価や人件費の上昇、電気代

の値上
ーント
より、
これま
ます。
こ
事業で
務省が
の改定
経営の
計画と
る既存
を策定
つき
下水道
下関市
議会の

の値上げ、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）への対応など社会経済情勢の変化により、投資費用も更に増加していくことが見込まれることなどから、これまで以上に厳しい経営環境と変革の時期を迎えることが予想されます。

こうした中、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業は水を扱う事業であるという点で関連性が高いことや、「経営戦略」について、総務省から質を高めるための改定を求められていることから、「経営戦略」の改定に合わせ、上下水道局が経営する全ての事業における最大限の経営の効率化を目指すため、将来の事業環境の変化や次期下関市総合計画との整合を図りながら、上下水道局が経営する全ての事業における既存の「ビジョン」と「経営戦略」をひとつに集約した、経営計画を策定することとしました。

つきましては、中長期的な視点を持って、お客さまに満足される上下水道を目指しつつ、持続可能な事業経営を実現するため、「(仮称)下関市上下水道局中長期ビジョン(経営戦略)」の策定について、貴審議会のご意見を賜りたく、諮問するものです。

